

実践研究福井ラウンドテーブル2026 Summer Sessions

7月4日（土） 8:40-11:00 Session I 教職大学院改革特別フォーラム
（オンライン）

リーダーシップ再考

～多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成を促すために～

現在、日本の教育政策の議論では、次期学習指導要領の策定に向けた基本的な考え方が整理されるのに連動して大学における教職課程と教員免許制度の改革方針が提起されています。ここでは、養成・採用・研修の各段階における教師の能力育成イメージが示され、多様な強み・専門性を有する教師たちが協働で教育実践を推進していく必要性が示されています。すなわち、子どもたちの主体的・対話的で深い学びを実装することのできる「多様な専門性を有する質の高い教職員集団」の形成が学校に求められていくのです。この「多様な専門性を有する質の高い教職員集団」の形成を促す大事な鍵が教職大学院制度の創設当初からその教員養成の目的に掲げられてきた「リーダーシップ」と言えます。

しかし、「リーダーシップ」と一口に言っても様々な像=イメージがあり、実際に現在では多様なリーダーシップ論が展開しています。そこで本特別セッションでは、実際に私たちが「多様な専門性を有する質の高い教職員集団」を形成していくために必要なリーダーシップに関する現代の考え方と理論、そして実践を話題提供し、これからの教職大学院、教員養成・教師教育で追究する必要のあるリーダーシップ像を描いていきます。

アジェンダ

08:40 - 08:50 オープニング

08:50 - 10:10 話題提供とコメント

10:20 - 10:50 ダイアローグ

10:50 - 11:00 クロージング

趣旨説明

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授
遠藤 貴広 氏



コーディネーター

福井大学大学院連合教職開発研究科 教授
中森 一郎 氏

話題提供 1 : シェアド・リーダーシップ 若手・中堅教師による学校改善

横浜国立大学大学院教育学研究科 准教授 脇本 健弘 氏
東京学芸大学連合学校教育学研究科 小水 亮子 氏

- ・ 特定リーダーに依存しない相互作用の重要性
- ・ 若手・中堅層がいかに影響力を発揮するか
- ・ シェアド・リーダーシップがもたらす組織の柔軟性

話題提供 2 協創するコミュニティ 実践し協創するコミュニティ構造

福井大学教育学部附属義務教育学校 教諭
河合 創 氏・佐々木 庸介 氏

- ・ 義務教育学校における組織デザインの実践
- ・ 「研究企画チーム」による変革の推進
- ・ 教師が主体的に関わるコミュニティの形成

話題提供 3 LfMにもとづく研修デザイン Leadership from the Middle

福井大学大学院連合教職開発研究科 教授
木村 優 氏

- ・ 学校組織変革コアリーダー研修の設計
- ・ ミドルからのリーダーシップの理論的背景
- ・ 研修を通じた組織変革の担い手育成

コメント リーダーシップとコミュニティ Leadership & Communities

北海道大学大学院教育学研究院 准教授
篠原 岳司 氏

共有分散型リーダーシップとLfMを横断し、地域や行政との関わりを含むエコシステムとしての学校コミュニティのあり方について示唆をいただきます。

主催 福井大学大学院連合教職開発研究科
共催 福井大学教育学部及び連合教職開発研究科FD委員会

参加申込は
こちらから▶

